

新春を祝う1日 若者から力強い抱負

1月8日、毎年恒例となつてい
る新春の集いがジョイ・じよぐら
にて開催され、町内から約170
名が集い、ともに新年の門出を祝
いました。

会場では、工藤町長から挨拶が
あり、近年の町内各産業の状況や
人口減少などに触れ、引き続き前
を向いて進む必要があり、また、
今年開業となる北海道新幹線や地
方創生の一環として、檜山管内7
町と東京大田区との連携事業など、
こうした機会を大いに活用し、地
域を売り込み交流人口の拡大や特
産品の販路拡大を図るとの話があ
りました。

また、これからのまちの産業を
支える3名の若者を紹介し、壇上
でそれぞれに今年の抱負を語って
もらいました。

最初に紹介されたのは大留地区
で旅館業を営む久末元さんで、久
末さんはこれまで町外で料理修業
をし、いつか必ず地元に戻つ
て家業を継ぐとの約束から、
4年前に帰省したとのことだ
す。そして、これまで多くの
方々に助けられながら何とか
頑張つてこれたという言葉と、
本業はもちろん、イベントな
ども積極的に参加し、まち
を盛り上げるために尽力した
いと話していました。



次に小砂子地区で漁業を営む小
田修一さんは、魚の数が激減する
近年の漁業の厳しさから、地元
の若手漁業者と協力し合い、養殖ア
ワビなどの育てる漁業の重要性を
感じて実践しています。そして、
これからの漁業と地域の振興に取
り組んでいきたいので、背中を押
してほしいとの言葉がありました。
最後に紹介された桂岡地区で農
場を営む森祐介さんは、昨年より
も今年、今年よりも来年というよ
うに、新たな知識・手法を常に吸
収し、収量の増加を目指すという
ことと、青年農家一丸となつて農
業をより活気あるものとし、様々
な活動にも仲間とともに積極的に参
加していくなど、まちを盛り上げ
ていきたいと語り、若者の抱負を
聞いた来場者からは多くの拍手が
送られました。

この後、石澤議長の発声により
乾杯し、例年よりも来場者が多い
こともあってか、終了まで活気に
満ちた雰囲気となり、賑やかに1
年の始まりを祝う会となりました。

舌が唸る自慢の二品大集合！ かみのくに食遊祭開催



する人気投票で、『今年はどこが
一番か？』と、テーブルで料理を
楽しんでいる方々も時折投票所を
見つめ、推移を確認している様子
でした。

また、投票が進むなか、舞台で
は郷土芸能の龍焰太鼓や上ノ国空
手少年団による演舞、上ノ国中
学校吹奏楽部演奏会なども行わ
れ、今年初開催となった腕相撲大
会『天河強力王決定戦』では、大
人から小さなお子さんまでが参加
し、注目を集めていました。

そして、注目の総選挙結果発表
では、多くの料理がしのぎを削る
なか、夷王亭の『てつくい天みぞ
れ鍋』が見事優勝しました。

この料理は出汁の利いた汁に、
てつくい（ひらめ）の天ぶらを入
れたもので、今年初出品ながら多
くの方の舌を唸らせた一品でした。

2位には白濁とした汁が特徴的
な居酒屋美里の『鳥つくねの白湯
なべ』、3位は乙部町から出店し
た居酒屋和がやの『ところろビー
フシチュー』と続いたほか、具だ
くさんで温かいラーメンやおしる
こ、牛すじから出汁を取った煮込
み汁なども人気を集めていました。

食遊祭は、各店舗で売切が続出
する盛況ぶり、始まりから終わ
りまで活気に満ちており、多くの
方が上ノ国の美味を満喫した一日
となりました。

1月24日、本町の冬を代表する
イベントである『第9回かみのく
に食遊祭』が町民体育館にて開催
され、多くの方々が会場を訪れま
した。

会場では、周囲を囲むように並
ぶ19店が自慢の料理などを販売し、
来場者はお目あての加工品や料理
を求めて店舗に詰めかけるなど、
熱気と活気に溢れていました。

その中で行われた『天河一品味
くらべ総選挙』は、販売された汁
物料理の容器を、中央に配置され
た投票用の棒に刺すことで一票と